地域連携を支える人材育成に係る取組 実施状況一覧（令和5年度末現在）

■各認知症疾患医療センターから都へ提出のあった実施報告書等から、令和5年度の主な取組内容を取りまとめたものです。

	順天堂医院	三井記念病院	聖路加国際病院	
取組名	令和5年度第2回認知症疾患・介護連携研修会	地域連携フォーラム	小規模多機能型居宅介護の実際	終末期ACPIについて事例検討会
実施日時	令和6年3月7日（木） 17:30～19:45	令和5年11月15日 19:00～20:05	令和5年10月21日 18:00～19:30	令和5年11月17日 18:00～19:30
対象者	文京区の包括支援センター・区役所・介護事業所	地域の医療・介護従事者	保健・医療・福祉・介護に携わる方、その関係者	かもめケアネット運営メンバーならびにメンバーから紹介を受けた保健医療福祉関係者
周知方法	対象者（対象機関）へ直接案内を送付	案内状送付、病院ホームページ掲載、院内ポスター掲示	メール、チラシ	メール、チラシ
実施方法	オンライン開催	オンライン開催	オンライン開催	オンライン開催
内容	1. 事例検討 2. 講演「認知症の人の自己効力感を高めるために」 3. 質疑応答、意見交換	○テーマ「地域における認知症ケア×緩和ケア」クロストーク（ハイブリット形式） （講師）認知症ケアの立場：医師（精神科）／ 緩和ケアの立場：医師（永寿総合病院 緩和ケア科）	○講演「事例でわかる！小規模多機能型居宅介護」（講師）小規模多機能型居宅介護十思 介護支援専門員・作業療法士 ○ディスカッション「小規模多機能型居宅介護の現状と課題」（ファシリテーター）東京ひかりナースステーション 在宅看護専門看護師	○テーマ「揺れ動く気持ちに寄り添う終末期ケア～ACPサポートグループへの相談を通じて～」 （講師）聖路加訪問看護ステーション 看護師

	東京都済生会中央病院	永寿総合病院	
取組名	認知症ケアセミナー	台東認知症カンファランス	認知症診療の最前線 in 台東
実施日時	令和5年9月26日 18:00～19:00	令和6年1月25日 19:00～20:00	令和6年3月27日 19:00～20:00
対象者	地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、訪問介護、訪問看護、通所サービス事業所、クリニック等に勤務する専門職	区内の医療・介護・福祉専門職	区内の医療・介護・福祉専門職
周知方法	・介護サービス事業所にFaxで案内を送信 ・診療所、クリニックに郵送で案内を送付 ・当院ホームページにて案内を掲載	チラシの郵送・メール・FAX	郵送・メール・FAX・SNS・チラシの手渡し
実施方法	オンライン開催	オンライン開催	オンライン開催
内容	○講義 「においと認知症の関係」 （講師）東京都健康長寿医療センター研究所 老脳神経科学研究チーム 専門副部長	○テーマ「認知症高齢者における疼痛管理」 （講師）東京医科歯科大学 神経内科 特任教授	○テーマ「永寿総合病院におけるレカネマブ投与体制について」 （講師）永寿総合病院 脳神経内科副部長 ○テーマ「抗Aβ抗体薬時代における認知症診療の現状と展望～慶應病院における診療フローを踏まえて～」 （講師）慶應義塾大学医学部 生理学教室 特任教授

	荏原病院	荏原中延クリニック
取組名	～ケアマネさんと一緒に考える～「ACPってなんだろう」	講演会
実施日時	令和6年2月8日 14:00～16:00	令和6年3月11日 18:30～20:00
対象者	大田区調布地域のケアマネジャー	区内の医療・介護・福祉専門職・家族介護者・地域住民など
周知方法	区役所から区内の包括支援センター、居宅支援事業所に周知	チラシの送付・手渡し
実施方法	オンライン開催	オンライン開催
内容	<p>講師：医師 司会進行：PSW ファシリテーター：看護師、PSW</p> <p>内容： ACPIはどのようなものか、いつやるべきものかを始めとして、医療・ケアチームとして関わる重要さを講義。 意思決定のプロセスの進め方、ACPIにはそのプロセスの大切さ、認知症の方にも意思はあることを前提に関わる姿勢など学ぶ。</p>	<p>○講演タイトル「未来を守る：認知症予防と治療の新たな展望」 (講師)昭和大学医学部 脳神経内科学部門 医師</p>

	松沢病院	三宿病院	東京女子医科大学附属成人医学センター
取組名	令和5年度松沢病院地域連携を支える人材育成研修	認知症疾患医療センター2023年度第1回勉強会	多職種勉強会
実施日時	令和5年9月25日 14:00～15:30	令和5年9月8日 18:00～19:45	令和6年2月10日 15:30～16:30
対象者	世田谷区、渋谷区、目黒区の地域包括支援センター、高齢福祉所管課、認知症疾患医療センター、世田谷区内の特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、グループホーム、有料老人ホーム、ケアハウス、小規模多機能に所属する職員	区内医療・介護従事者 ケアマネジャー、地域包括支援センター職員	渋谷区内の医療・介護職 (地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、訪問看護ステーション)
周知方法	上記対象者所属所属施設への募集案内送付、HPへの掲載、Xへの投稿	開催通知を郵送	開催案内を各施設・事業所へ郵送
実施方法	集合形式	オンライン+集合形式	集合形式
内容	<p>○都立松沢病院 名誉院長 齋藤正彦医師</p> <p>○「正常老化と認知症」と題し、加齢による老化と認知症では何が違うのかを、感覚器の老化と精神機能の老化の両面から具体例をあげながら説明し、認知症に関する治療、予防の可能性等について解説した</p> <p>○質疑応答</p>	<p>○講義</p> <p>「1 入院におけるせん妄・BPSDへの対応について～認知症サポートチーム介入の事例を用いて～」</p> <p>「2 認知症の睡眠障害と最近のトピックス」</p> <p>(講師) 三宿病院 認知症疾患医療センター センター長 (医師) 三宿病院 認知症疾患医療センター 認知症認定看護師</p> <p>(司会) 三宿病院 認知症疾患医療センター 専従相談員</p>	<p>①講義</p> <p>テーマ「認知症の新しい治療とこれからの認知症医療・介護」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症について (アルツハイマー型認知症ほか) ・レケナビについて (作用機序、対象、投与方法、投与期間、副作用、禁忌等) ・認知症疾患医療センターとの連携について ・認知症基本法について <p>②質疑応答</p> <p>③アンケート記入</p> <p>(講師) 東京女子医科大学附属成人医学センター 認知症疾患医療センター センター長 (医師)</p> <p>(司会) 東京女子医科大学附属成人医学センター 認知症疾患医療センター 専従相談員</p> <p>(ファシリテーター) 東京女子医科大学附属成人医学センター 認知症疾患医療センター 専任相談員</p>

	浴風会病院	東京医科大学病院	あしかりクリニック
取組名	「認知症セミナー-BPSDを考える」	地域連携型認知症患者医療センター 2023年度 研修会	「認知症ケアにおける自分の得意・不得意を知ろう！」
実施日時	令和6年3月28日 18:30~20:30	令和6年1月22日 17:30~18:30	令和5年11月28日 18:30~20:00
対象者	専門職（ケアマネジャー、訪問看護事業所、訪問介護事業所、地域包括支援センター職員、グループホーム等の看護、介護、相談に携わる方々）	新宿区高齢者支援課担当者、新宿区地域包括支援センター、新宿区居宅介護支援事業所のケアマネジャー等、新宿区訪問看護ステーション職員	中野区内の訪問介護事業所職員、認知症ケアに携わっている方
周知方法	各職種、機関ごとのメーリングリスト等広く案内	居宅介護支援事業所のネットワークからメール送付	中野区介護サービス事業所連絡会、中野区役所に依頼
実施方法	オンライン開催	集合形式	集合形式
内容	1 講話「BPSDについての講義」（講師）認知症患者医療センター長 2 Q&A ディスカッション 3 質疑応答	1 センター長挨拶 2 研修会 〈認知症に関する基礎知識〉アルツハイマー病新規治療薬「これからの認知症診療」について （講師） 東京医科大学病院 認知症患者医療センター センター長（医師） （司会） 東京医科大学病院 総合相談・支援センター 社会福祉士	①認知症の基本情報の講義 ②グループに分かれ、モデルケース（暴力、徘徊、物とられ）をもとに自身の経験をグループ内で共有する。また、その際の自身の感情（ストレスや楽しさ）についても共有してもらう。 （講師・司会） あしかりクリニック 認知症患者医療センター 専従相談員

	東京都健康長寿医療センター	豊島長崎クリニック
取組名	TMIG認知症地域カンファランス	地域で暮らす認知症の人を支える多職種研修
実施日時	令和5年7月25日 10:00～11:15	令和6年2月14日 14:00～15:30
対象者	板橋区内の地域包括支援センター職員、高齢者担当課行政職員など	区内の医療・介護・福祉専門職
周知方法	開催通知、ちらしを郵送	対象事業所に案内郵送
実施方法	オンライン開催	オンライン開催
内容	○グループワークのテーマ 「支援のはじまりにどのように向き合うか-出会いの関りの大切さを考える」 (進行) 健康長寿医療センター認知症疾患医療センター精神科医、専従相談員	○テーマ「認知機能障害がある高齢者の運転の問題と支援」 講師：1. 警視庁運転免許本部 高齢者対策課 臨時適性検査係 保健師 2. 豊島長崎クリニック 精神保健福祉士

	オレンジほっとクリニック	慈雲堂病院
取組名	認知症多職種カフェ けあとも	専門的知識獲得のための関係者向け研修・事例検討研修会
実施日時	令和5年4月19日、5月17日、6月21日、7月19日、8月16日、9月20日、10月18日、11月15日、12月20日、2月21日、3月27日 19:00～20:30	令和5年11月15日 18:30～20:30
対象者	認知症ケアに携わる医療・介護従事者 (医院や病院で受付業務などを担当している方も含む)	区内在勤の認知症患者のケアに関わる専門職
周知方法	・クリニックブログ・フェイスブック、ロコミ ・サービス提供責任者の会や認知症事業連絡会で紹介 ・研修や講演会等で宣伝	区と連携し、各部署にメール
実施方法	オンライン開催	集合開催
内容	○「“その人らしさ”は何処にある？」 ○「コーチングと医療・福祉」 ○「いわきの地域包括ケアigoku(いごく)」 ○「世田谷区の認知症希望条例とその取り組み」 ○「市民とともに、認知症を学ぶ街の取り組みに参加して」 ○「介護離職と「ケアラー支援」」 ○「後期高齢者と運転免許証」 ○「認知症とあいまいな喪失」 ○「多職種連携で乗り越える！高齢者の便秘治療」 ○「認知症患者の口腔ケアのポイント」 ○「食べたい！」「食べさせたい！」気持ちへの支援	○テーマ「高齢者の妄想について」 講師：桜台診療所 院長

	大内病院	あべクリニック
取組名	足立区認知症ケア研修会	荒川区医療・介護関係者向けセミナー
実施日時	令和5年11月1日 18:30~20:00	令和5年11月16日 19:00~21:15
対象者	足立区在住の保健・医療・介護関連専門職	地域の医療、介護従事者
周知方法	足立区の該当場所へFAXにて周知	郵送案内、メール案内
実施方法	オンライン開催	ハイブリッド開催（集合開催し、その様子をリアルタイムで配信）
内容	<ul style="list-style-type: none"> ○講演テーマ：「おひとり様」高齢者支援のためのリーガルサービス ○質疑応答 	<ul style="list-style-type: none"> ○テーマ：若年性認知症の支援～当事者を笑顔にする多職種協働～ 認知症に酷むてんかん～高齢者の自動車運転について考える～ （講師）すえひろケアプランセンター熊野前 医師 新宿神経内科クリニック 医師

	いずみホームケアクリニック
取組名	高齢者総合相談センター東四つ木における講話
実施日時	令和6年1月24日 14時～15時30分
対象者	東四つ木地区に勤務先や住まいのある方
周知方法	高齢者総合相談センター東四つ木より周知
実施方法	オンライン開催
内容	<ul style="list-style-type: none"> ○テーマ「住み慣れた町で最期まで暮らすために」 （講師）いずみホームケアクリニック 看護師、社会福祉士

	順天堂東京江東高齢者医療センター	中村病院		
取組名	福祉・介護従事者向け認知症研修	ケアマネ研修	認知症公開講座2024	こうめオンライン講座
実施日時	令和6年3月28日 18:00～19:15	令和5年12月20日 14:00～16:00	令和6年2月18日 14:00～15:00	令和6年3月15日 15:00～16:00
対象者	江東区の福祉・介護従事者	墨田区在勤のケアマネジャー	墨田区在住・在勤の認知症に関心のある方	墨田区在住の認知症に関心のある方
周知方法	開催案内を福祉・介護事業者へ直接郵送	FAX	外来にて配布ブース設置、区内高齢者支援総合センターに配架	区内高齢者支援総合センターでの掲示
実施方法	オンライン開催	集合形式	集合形式	オンライン開催
内容	「認知症の基礎知識」をテーマに認知症の基礎知識からBPSD、鑑別診断、非薬物療法、新薬レカネマブについて講演 (講師) 順天堂東京江東高齢者医療センターメンタルクリニック医師	* 事例を踏まえながら、認知症疾患医療センターの役割や機能について講義 (講師) 中村病院 認知症疾患医療センター 専従相談員 (司会) こうめ高齢者支援総合センター	* 「認知症を正しく知り予防する」をテーマに、認知症の病態や統計をわかりやすく説明 * 新薬や予防について講座 (講師) 中村病院 認知症疾患医療センター医師 (司会) 中村病院 認知症疾患医療センター専従相談員	* 高齢者が幅広く学び、人と人との繋がりを創出する機会として実施 * 「認知症を知ろう～気づきと予防～」をテーマに講義を実施 (講師) 中村病院 認知症疾患医療センター専従相談員 (司会) こうめ高齢者支援総合センター

タムス江戸川病院さくら	
取組名	地域医療セミナー
実施日時	令和5年9月24日 14:00～16:00
対象者	地域住民
周知方法	新聞折込チラシ、院内掲示、熟年相談室から情報発信
実施方法	集合開催
内容	<p>○テーマ 認知症外来にて「二度重(わらべ)」が教えてくれたこと</p> <p>医師が認知症外来の患者と接した実体験から、認知症を正しく理解するための手がかりを伝えた。新薬についても基本的な情報を提供。</p> <p>(講師) タムス江戸川病院さくら 認知症疾患医療センター 医師</p> <p>○テーマ 「認知症」と「脳卒中」の予防法</p> <p>予防法のほか、早期診断・治療をするために、その兆候や症状、診断、治療などについて、最新の知見も加えながら分かりやすく説明。また、認知症予防体操(コグニサイズ)を実施し、自宅でも継続できるようプリントを配布</p> <p>(講師) タムス江戸川さくら病院 認知症疾患医療センター 医師 タムス江戸川さくら病院 リハビリテーション科 作業療法士</p>

西多摩

	青梅成木台病院	福生クリニック	羽村三慶病院
取組名	介護リーダー層研修	明日から活かせる認知症ケア	認知症セミナー
実施日時	令和6年3月18日 13:00～16:05	令和6年1月19日 15:30～17:00	令和5年11月17日 18:00～19:00
対象者	西多摩医療圏域において、青梅市を中心とした医療・介護現場で働く認知症介護実践者で、リーダー的役割を担っている職員	市に在籍の居宅介護支援事業所、在宅サービス事業所、地域包括支援センター等	西多摩医療圏に勤務の医療・介護従事者
周知方法	西多摩地域の医療・介護事業所管理者宛に対象者の推薦（依頼案内及び募集要項等を郵送して募集 メールでの案内や電話受付でも対応）	案内状の送付・ファックス	センターホームページ、院内掲示、チラシ配布、メール
実施方法	集合開催	集合開催	集合開催
内容	講義・ワーク 「目標達成力」向上研修 「思いを実現するために！～ことばのちから～」 ・チームには目標が必要 ：目標は大切 ：目標を考えてみよう ・立てた目標を有効活用しよう ：目標設定の考え方 ：目標達成のために	○テーマ「認知症を知って、大切な人を支えよう」 （講師）公立福生病院看護部 認知症看護認定看護師	○テーマ「認知症者のアセスメントとケア」 （講師）公立福生病院看護部 認知症看護認定看護師

	あきる台病院	菜の花クリニック	大久野病院	奥多摩病院
取組名	支援者と考える成年後見制度と意思決定支援	認知症対応力向上のための集い	地域で支える認知症事例検討会	医療、介護事業所職員向け認知症研修
実施日時	令和6年1月19日 15:00～17:00	令和6年3月26日 14:00～15:30	令和5年7月24日 14:30～16:30	令和5年10月13日 17:30～19:00
対象者	あきる野市内の医療・福祉従事者	町に在籍の居宅介護支援事業所、在宅サービス事業所、地域包括支援センター等	町内で従事する医療介護の専門職者	認知症ケアに携わる医療・介護・福祉従事者
周知方法	文書通知、電話	案内状の送付	郵送、メール	直接、施設へ直接案内配布
実施方法	集合開催	集合開催	集合開催	集合開催
内容	○成年後見制度とは ○厚生省のガイドライン ○事例 ○申立書作成 ○一般的な後見人の仕事 ○任意後見人、成年後見人制度 ○質疑応答 （講師）あきる野司法書士事務所 司法書士	○テーマ「介護拒否はなぜ起こるのか？～認知症の人の「かたくなな気持ち」をときほぐす方法～」 （講師）株式会社くらしあず代表取締役 東京都認知症介護指導者	○事例検討会 （進行）認知症疾患医療センター センター長、看護師	○テーマ「認知症疾患と疾患別対応について」 （講師）秋川病院 医師

	平川病院	鶴川サナトリウム病院	多摩平の森の病院
取組名	事例検討会 ～ 認知症を多職種で考える ～	地域の専門職向けの講義・セミナー	勉強会「認知症等高齢者困難事例について考える—いわゆる、「ごみ屋敷」を通して—」
実施日時	令和5年10月2日 18:30～20:00	令和6年3月24日 14:00～16:00	令和5年9月13日 14:00～15:30
対象者	市内の医療・福祉・介護従事者・行政関係者	町田市市内の主任介護支援専門員	医師会所属の市内医療機関の医師・職員、市内の全介護保険事業所・地域包括支援センター、市高齢者福祉課の職員
周知方法	・関係各団体に開催案内を送付し、会員への配信を依頼 ・当院ホームページに開催案内を掲載	案内文・チラシの送付	医療機関には医師会からチラシを郵送 その他はFAXにて送付
実施方法	オンライン開催	集合開催	集合開催
内容	○事例検討「認知症を多職種で考える」 模擬事例、患者の意思決定支援 (講師) 平川病院心理療法師	○講義 「レカネマブは地域連携をどう変えるか」 アルツハイマー病治療薬「レカネマブ」の登場や認知症基本法の成立など、認知症を取り巻くトピックの解説を交えながら、「早期発見・早期対応」がより重要になること、かかりつけ医療機関と認知症疾患医療センターを繋ぐパイプ役として介護支援専門員が正しい知識を持つことが重要であることを説明 (講師) 鶴川サナトリウム病院 認知症疾患医療センター 医師 (司会) 医療と介護の連携支援センター	○講演 ・困難事例とは何か、支援者の介入困難という感覚を問う ・高齢者・認知症の最新統計と施策、最新研究成果の紹介 ・困難事例の整理 ・いわゆる「ごみ屋敷」の現状と対応 (講師) 東京都健康長寿医療センター 認知症支援推進センター センター長 (医師) (座長) 多摩平の森の病院 認知症疾患医療センター 医師

	桜ヶ丘記念病院	稲城台病院
取組名	令和5年度 認知症連携推進講演会	講演「その人らしい活動・参加することの効果」
実施日時	令和6年1月20日 13:30～15:00	令和6年1月20日 13:30～15:30
対象者	多摩市内もしくは近隣市で認知症や障がい者支援に関わっている専門職	市内の医療福祉関係者（市役所職員、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、医療機関・クリニックなどの職員）
周知方法	市役所や市医師会に協力依頼し、配布・周知 病院広報誌にチラシ封入	郵送、メール
実施方法	集合形式とオンライン形式のハイブリット開催	集合形式とオンライン形式のハイブリット開催
内容	○講演 「高齢者の精神症状について—認知症との関係性—」をテーマに、精神症状の評価や鑑別方法・ポイント、高齢者の精神症状と認知症のBPSDとの関連性等を実例や経験談を交え、講演 ○質疑応答 (講師) 聖マリアンナ医科大学神経精神科学教室 主任教授 (司会) 桜ヶ丘記念病院 認知症疾患医療センター 専従相談員 (座長) 桜ヶ丘記念病院 認知症疾患医療センター センターへ (医師)	○認知症の方のその人らしい活動や生活への作業療法の活用についての講演を実施 (講師) 東京都作業療法士会副会長 (司会) 稲城台病院 認知症疾患医療センター 社会福祉士

	立川病院	たかつきクリニック	国分寺病院
取組名	立川市認知症多職種協働研修「認知症体験から学ぶ」	認知症とともに、出会い、つながる社会へ	認知症支援地域連携研修会
実施日時	令和5年11月22日 ①10:00～12:00、②13:00～15:00	令和5年12月16日 13:00～15:30	令和6年2月29日 14:00～16:00
対象者	立川市内で認知症医療・介護に携わる専門スタッフ	市内の介護事業所	市内の医療・介護事業所に勤務する職員
周知方法	ホームページ 包括支援センターや市役所経由での広報 等	チラシ送付	国分寺市内の居宅支援事業所、訪問看護ステーション、地域包括支援センター、市役所高齢福祉課へFAX
実施方法	オンライン開催	集合形式	集合開催
内容	<p>○認知症の方が見ている世界や、高齢者の身体状況を体験する。 VR研修（90分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・VR機器を用いた体験を用いたグループワーク 高齢者疑似体験（30分） ・高齢者疑似体験グッズ使用して実際に歩く体験 	<p>○「認知症とともに、出会い、つながる社会へ」をテーマに、認知症当事者をお呼びして、認知症に対する思いや、生活の工夫を講義形式と対話形式で実施 ○質疑応答</p> <p>（講師）たかつきクリニック 専従・専任相談員、看護師 くらしの保健室・多摩 看護師</p>	<p>○講義：テーマ「認知症薬について」 認知症の薬について、既存のものから最新情報まで紹介 （講師）国分寺病院 認知症疾患医療センター センター長（医師）</p> <p>○事例報告：テーマ「介護サービスにつながらない方のケース」 外来で対応した事例について、参加した各職種の方々とグループワークを実施し、各職種の視点から意見交換を実施 （講師）国分寺病院 認知症疾患医療センター 臨床心理士 （司会）国分寺病院 認知症疾患医療センター 保健師</p>

	新田クリニック	東大和病院	武蔵村山病院
取組名	チーム国立	認知症患者が精神科病院へ緊急入院となる場合の各々の役割について	地域でささえる認知症研究会
実施日時	令和5年6月29日 18:30～19:30	令和5年5月26日 16:00～17:00	令和6年2月16日 19:15～20:45
対象者	市内の診療所職員、訪問看護ステーション職員、包括支援センター職員	市内の地域包括支援センター（認知症地域支援推進員）、市地域包括ケア推進課、介護連携支援センター、医療福祉相談員	市内における医療・介護従事者
周知方法	メールで周知	メールで案内	ポスターの郵送、市内医療関係者向けSNSにて周知
実施方法	オンライン開催	集合形式	オンライン開催
内容	<p>○事例検討 市内での看取り事例、在宅生活困難事例を検討し、関係者での対応力向上を図る</p> <p>テーマ「就労中の60代の息子と2人暮らしの90代認知症女性の心不全管理」 （進行）新田クリニック 認知症疾患医療センター 医師</p>	<p>○ケースに関わっていた各々の職種から事例紹介や部署でのアセスメント、方針について共有。</p> <p>○他事例を含めた、警察介入があった場合の精神科への受診・入院相談の流れについて、意見交換等を実施</p> <p>（司会） 東大和病院認知症疾患医療センター 専従相談員</p>	<p>○講義 *若年性認知症の基本的理解 *当事者からのメッセージ</p> <p>（座長）武蔵村山病院 認知症疾患医療センター センター長 （講師）国立精神・神経医療研究センター 脳病態イメージングセンター 臨床脳画像研究部長 医師 （開会挨拶）武蔵村山病院 院長 （閉会挨拶）武蔵村山市医師会 藤田医院院長</p>

	杏林大学医学部付属病院	武蔵野赤十字病院	根岸病院
取組名	きれめのない認知症支援をめざして	認知症連携部会	根岸病院認知症疾患医療センター専門職向け研修会
実施日時	令和5年7月6日 18:30~20:00	令和5年12月19日 19:00~20:30	令和5年10月20日 19:30~21:00
対象者	三鷹市認知症支援に関わる居宅介護支援	認知症部会に参加している部会員（武蔵野医師会、武蔵野薬剤師会、訪問看護、訪問リハビリテーション連絡協議会、居宅介護支援事業者連絡協議会、通所介護・通所リハビリテーション事業者連絡協議会、在宅介護・地域包括支援センター）	市役所、市内の地域包括支援センター、老人福祉施設、薬局、近隣地域を含む医療機関の各専門職
周知方法	メール	各職種との連絡協議を通じて希望者を募集	郵送
実施方法	集合開催	集合開催	集合開催
内容	1) 認知症専門医への質問タイム 2) 課題別グループディスカッション ①「本人の意思の尊重」と「家族支援」のジレンマ ②精神科入院と施設入所の狭間で ③これって高齢者虐待？不適切な介護者への対応 ④ゴミ屋敷状態の身寄りのない認知症の人 講師：杏林大学医学部付属病院高	○事例研究 グループワークを実施 ①「認知症のある人の看取りを振り返り心残りがあったか？」「認知症のある人のACPにどのような役割を意図して、他の支援者と連携しているか？」 ②「認知症のある人へのACPについて、各職種がどの段階から関わるべきか？」 「認知症のある人のACPについて理想の関わり方（ファシリテーター） 吉祥寺ナーシングホーム在宅支援センター、武蔵野市高齢者支援課（発表者） 武蔵境病院、花木医院 ○「私のこころづもり」の運用について （発表者）武蔵野赤十字病院 認知症疾患医療センター 専従相談員、看護師	○今年度の実績を報告し、ディスカッションにより内容を深めた （講師）根岸病院 認知症疾患医療センター センター長（医師） 根岸病院 認知症疾患医療センター 専従相談員 （司会）根岸病院 認知症疾患医療センター 専従相談員

	青木病院	桜町病院	東京慈恵会医科大学附属第三病院
取組名	第14回 懇話会	認知症医療介護従事者向け研修	第10回慈恵医大第三病院認知症疾患医療センター認知症研究会
実施日時	令和6年2月26日 18:30~20:00	令和5年10月12日 19:00~20:30	令和6年2月21日 18:00~19:00
対象者	市内の介護・福祉関係者（多職種対象） 二次医療圏内の認知症疾患医療センター	市医師会、歯科医師会、薬剤師会、介護保険事業所	近隣の医療機関（病院、かかりつけ医）、行政、地域包括支援センター、ケアマネジャー、介護事業者 等
周知方法	各事業所宛てにFAX、郵送 MCSを利用して発信	メールリングリスト、MCSで周知	認知症連携会議・包括連絡会、CM連絡会、医師会を通して周知（メール、FAX）。 近隣の医療機関へ当院外来担当医表送付時に案内を同封して郵送（約900カ所）。 北多摩南部地域の各認知症疾患医療センターへメール 等
実施方法	集合開催	オンライン開催	オンライン開催
内容	<第1部> ○講演「あいまいな喪失とは」 ～認知症当事者やご家族の揺らぐ気持ちを理解する～ （講師）青木病院 院長 医師 <第2部> ○質疑応答 （講師）青木病院 認知症疾患医療センター センター長（医師） （司会）青木病院 認知症疾患医療センター 専従相談員	○講演 テーマ「認知症とコミュニケーション」 認知症の基本知識の復習と、訪問の言語聴覚士からみた認知症の方へのコミュニケーション、アプローチ方法など、理論的な話と経験的な事例を交えながら講義 （講師）陽だまり訪問看護ステーション 言語聴覚療法士 （司会）桜町病院 認知症疾患医療センター 医師、専従相談員	○講演 「認知症ケアにおける地域連携」をテーマに、都における認知症事情の概要から、認知症ケアの再考及び都の各種認知症施策と関連事業、認知症サポート医や支援の取組について講演 （講師）医療法人社団鳥社会 西田医院院長・調布市医師会会長 （座長）東京慈恵会医科大学附属第三病院認知症疾患医療センター センター長（医師）

	山田病院	国立精神・神経医療研究センター病院	多摩あおば病院
取組名	西東京市認知症支援者事例検討会	ブラッシュアップ研修	多職種連携研修会
実施日時	令和5年9月1日 13:30～16:00	令和5年11月13日 15:00～16:30	令和5年10月26日 19:00～20:50
対象者	西東京市内の病院・クリニック・訪問看護事業所・地域包括支援センター・通所介護支援事業所・入所施設・行政担当職員 ・認知症初期集中支援チーム・薬局・歯科医療機関の職員	市内の医療・介護従事者	市内の医療・介護従事者
周知方法	対象者（対象機関）へ直接案内を送付	郵送	介護事業所等関係共有掲示板、FAX、郵送
実施方法	オンライン開催	オンライン開催	集合開催
内容	●ミニ講座「精神疾患について」 ●事例検討会 事例1：長女が統合失調症で、認知症である母親の病状を受け入れられない事例 事例2：長男が発達障害で、認知症である母の言動に腹を立て受診に同行しなくなった事例	○テーマ「認知症の基本と最近の知見」 （講師）国立精神・神経医療研究センター病院 医師（神経内科医） ○テーマ「精神科医と新薬について」 （講師）国立精神・神経医療研究センター病院 医師（精神科医）	○「認知症を抱えているかたへの支援を考える」 （講師）多摩あおば病院 精神科医師

	複十字病院	前田病院
取組名	2023年度認知症研修会	多職種研修会
実施日時	令和5年9月29日 17:00～18:00	令和5年10月12日 18:30～20:30
対象者	市内医療・介護従事者	市内医療・介護従事者
周知方法	関係機関に案内状を郵送にて送付・院内メールにてお知らせ	ホームページ、関係機関へFAX
実施方法	オンライン開催	感染拡大防止策を講じた上で集合開催
内容	○テーマ「清瀬チームオレンジin中戸オレンジハウス」 （講師）清瀬市生涯健康部介護保険課地域包括ケア係 清瀬市地域包括支援センター 職員 （講師）複十字病院 もの忘れ外来患者（認知症当事者）	○講義「若年性認知症の支援について考える」 （講師）前田病院 もの忘れ外来担当 医師 （講師）東京都多摩若年性認知症総合支援センター 相談員